

この先生に聞きました!

倉敷リバーサイド病院
人工関節センター長
川口 洋

【平成元年】
防衛医科大学卒業
【平成5年~】
倉敷中央病院
【平成18年12月~】
倉敷リバーサイド病院

経験手術総数:6500件
人工関節の手術数:1400件



ひざや股関節の痛みをなくして 楽しく歩くための 人工関節治療の紹介

明るく長生きするたに健康の秘訣は歩くことです。
ひざや股関節の痛みで歩くのがつらいひとは大勢います。
そんな人々が人工関節治療で再び歩くよるこびを取り戻しています。

ひざや股関節が痛くて困っていませんか?

- 朝起きて動き始めが痛む
- 階段の上り下りがつらい
- 正座ができない
- あぐらがかけない
- しゃがみこめない
- 脚がまっすぐに伸びない
- O脚になる
- ゴリゴリする
- 歩くときに上体が傾いて左右に揺れる
- 夜痛くて眠れない
- 出歩くのがおっくうになる
- 旅行にも行かなくなった



なぜ痛むの

ひざや股関節では骨の表面は軟らかい軟骨で覆われています。軟骨は衝撃を吸収するクッションのような働きをしています。軟骨のクッション機能が衰えて軟骨がすり減り、さらに悪くなると軟骨の下にある骨がむき出しになり痛みがとれなくなります。いったんす

り減ってしまった軟骨は元に戻ることはありません。軟骨がすり減って土台の骨が傷ついた場合、人工関節治療が必要になります。

人工関節治療とは

傷んだ関節を金属とポリエチレン、セラミックなどでできた人工関節に取り換える治療です。治療

後、変形した脚はまっすぐになります。関節自体の痛みはなくなり、しっかり体重をかけて歩けるようになります。人工関節の手術は日本全国で1年間に約12万件行われています。その数は年々増えています。

手術を受けるかどうかの判断

人工関節は専門化が進んだ治療法の一つです。人工関節の手術をするべきかどうかという判断に関しては実際に手術を行っている病院の専門医による診察を受けることが薦められています。

専門医の診察をうけるかどうかの目安は、薬や注射、リハビリなどの治療を3か月以上しても症状がよくならない場合がひとつの目安となります。

手術を受ける時期についてはひとりひとりの症状や生活状況に応じて判断されます。治療が必要なことが分かっていても実際に手術を受けることは勇気のいることです。まだ若いから手術は受けたくないとか、もう年だから手術はしたくないと考えるのはごく自然なことです。

関節の治療方法では人工関節が最後の手段と説明され、痛みが我慢できるのならなるべく手術は避けたいと誤解しているかたがいます。これらの誤解は40代50代の股関節に痛みを持つ女性や、70代80代のO脚のかたに多くみられます。

近年人工関節の性能はよくなっていて、手術は20代から90代まで幅広く行われています。人工関節で



病気を治せる人が、痛みを我慢していても病気は進行します。痛んだ関節をかばうことが他の関節に負担をかけ、腰痛や神経痛の原因になることがあります。家にこもりがちになり鬱になるひともいます。悪いところは治すとシンプルに考えて、適切な時期にしっかりと治療することが大切です。

人工関節は満足度の高い治療です

「手術で脚がまっすぐになってモデルさんのようですよ!」と女子高生のように笑顔でしゃべる80代の女性、「痛みが全くなって人工関

節が体の中に入っていることなか忘れて暮らしています。何年も苦しんできたのがウソのよう、もっと早く手術をすればよかった。」とよるこび股関節の手術をうけた50代の女性など手術後性格が明るくなる方が多いのも特徴です。

人工関節センターでは

医師、麻酔科医、看護師、リハビリ療法士、放射線技師、薬剤師、ケースワーカー、医療事務など人工関節に精通したスタッフがそろっています。また同じ病気を治す仲間ができるのも心強いことです。

公益財団法人 倉敷リバーサイド病院 (旧 財団法人倉敷中央病院 倉敷リバーサイド病院)

院長 島村淳之輔

診療科 内科／神経内科／外科／整形外科／小児科／眼科／耳鼻咽喉科／麻酔科(吉川慶三)／放射線科／リハビリテーション科／歯科

その他 健康管理センター、人工関節センター、緩和ケア医療センター

検診 特定健診、企業健診、人間ドック、脳ドック、乳がん検診、健康診断

〒710-0811 倉敷市鶴の浦2-6-11 P200台
086-448-1111 http://www.kchnet.or.jp/krh/

○ 診察時間(整形外科)	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	○	○	○	×	○	○	×

※ 診察は午前のみ ※ 祝日は休診 ※ 診療科目により診察時間が異なる